

第56回VBL共同セミナー

※本セミナーは5研究科共同セミナーになります。

現場のイノベーション ～新型MazdaAtenzaにおける開発の志～

お客様にとって本当に「価値」ある製品開発戦略とは？

広島発世界へのイノベーション！あのマツダがここに来て躍進を続ける理由は一体なぜ？
現場で陣頭指揮をした同窓生？が語る苦悩と喜びの日々。

開催日時

平成 **25** 年 **6** 月 **13** 日（木）
16:20-17:50

場 所

広島大学理学部E102

講 師

マツダ株式会社商品本部新型アテンザ開発担当
主査 梶山 浩 氏

経歴：

1987年～ エレキ系エンジニアとして電装品全般の設計開発を担当

2006年～ 北米向け2代目Mazda6の主査を担当

2008年～ 全世界向け3代目Mazda Atenza/Mazda6の主査を担当

概 要

機能的価値”とは、カタログなどに記載される”客観的”な評価基準が定まった価値である。”意味的価値”とは、お客様の自己表現やこだわりによって”主観的”に意味付けることから生まれる価値である。従来は主に”機能的価値”に偏重した製品開発が行なわれてきたが、多様な製品が溢れる現代においては”意味的価値”の重要性が増している。新型Mazda Atenzaでは「顧客価値＝機能的価値＋意味的価値」と定義し、それを最大化するために何をおこなったか、実際の開発事例から紹介する。

お問合せ先
お申込み先

①名前 ②所属 ③学年 を明記の上、下記「申込先」までE-Mailで申込みください。

広島大学産学・地域連携センター 新産業創出・教育部門VBLOffice

TEL：082-424-7880 E-mail：office@vbl.hiroshima-u.ac.jp